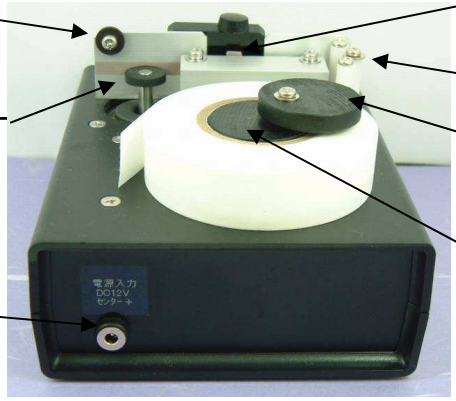
電信記録装置「鍵文録」取扱説明書

1 当装置のパネル面

ペン押さえネジ
記録紙押さえ
ペンホルダー
PL
モニターブザー
電源SW
Keyジャック
記録紙送りスピード調整ツマミ
MIN 15mm/S～MAX 70mm/S
中心 30mm/S
モード切替SW

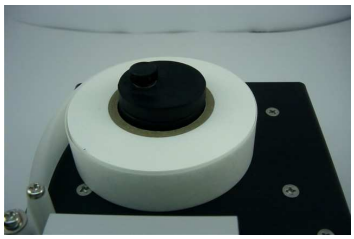
2 当装置リア面
当装置は12V仕様です。 電源端子にはセンター＋、外周－で12Vを加えてください。



アクチェーター
出口記録紙ガイド
入口記録紙ガイドローラー
記録紙送りローラー
記録紙ストッパー
記録紙ホルダー
電源端子
12V/200mA

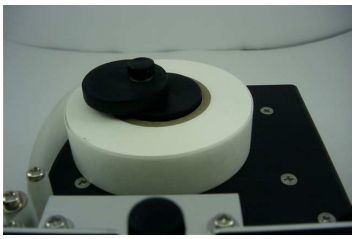
3 記録紙のセット方法

①



記録紙ストッパーを下の円柱に揃え、
ホルダーに紙テープをはめ込みます。

②



ストッパーを回転させ、テープが抜け落ちないようにします。

③

出口記録紙ガイド

記録紙押さえを指で左右交互に前方へ
押しながら、写真のようにテープを挟み込みます。
出口記録紙ガイドの下へテープを通してください。

④

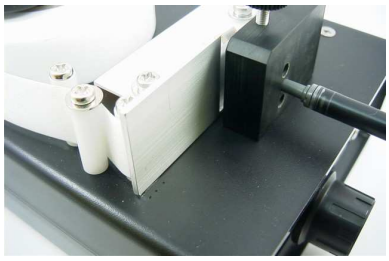
写真のようにテープをたるませ、
3本の入口ガイドローラーにテープを通します。

⑤

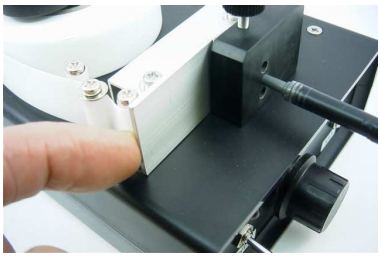
ペンの仕様・・・・　Pentel　GEL　Φ0.5 LRN5
※　100円ショップの水性ゲルインクでも使える物があります。

テープのたるみを取ればテープセット完了です。

4　ペンの取り付け



ペン押さえネジを充分戻しておいて、
ペンを3個ある穴のどれかに一杯まで差し込みます。



ペンがアクチェーターに当たった状態で
記録紙押さえを指で前方に引きます。
ペンが押し出されるのを確認します。

記録紙押さえをフリー状態と最引き出し位置の中間まで引き出します。
その状態でペン先がアクチェーターに当たるまで差し込み、ペン押さえネジを締めます。
これでペンの取り付け、差込み深さの設定は一旦完了です。

5　最終調整
Keyジャックに電鍵を接続します。
ACアダプターをコンセントに差し込みます。
電源スイッチを入れ電鍵を押さえ、適当な速さの紙送りスピードに調整します。
記録紙は電鍵がOFFになっても、ほぼ一定量紙送りをしてから停止します。
電鍵で符号を打ってきれいに印字されるか確認します。
きれいに印字されない場合はペンを0.1mm単位で深くしたり、浅くして調整します。

アクチェーターとペン先との隙間が狭すぎると、動作時の磁力による吸引力が弱く、ペンが記録紙に
充分押し付けられないので記録できないか薄くなります。
また、アクチェーターとペン先との隙間が広すぎると、これもアクチェーター動作時に記録紙が
ペンに届かず記録できません。

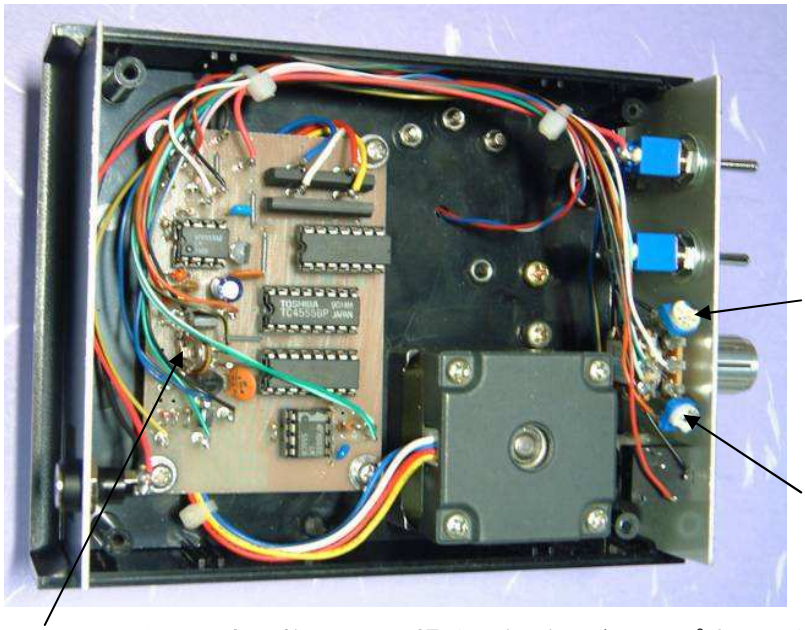
6　モード切替について
モード切替SWがノーマル位置ではモニターブザーの音有り、紙送り自動スタート、ストップになっています。
通常はこのモードでお使い下さい。

切替SWを上側に倒すとモニターブザーは鳴りますが、紙送りはしません。
電鍵操作のお試しモードです。　記録紙を節約できます。

切替SWを下側に倒すと紙送りは自動スタート、ストップしますがモニターブザーはOFFになります。
モニター音付きの電鍵をご利用の場合、あるいはサイレンとモードの練習等にお使い下さい。

7　その他
紙送りが停止した後でスピード調整ツマミを操作すると、記録紙が余分に送られることがあります。
これは仕様であり問題ありません。
また、電鍵を操作しない場合も紙送りモーターから若干音が出ますが、これも仕様であり問題ありません。
ケースに本体をしまう時にはペンをホルダーから抜き、固定ネジをいっぱいまでねじ込んで下さい。
仕様、回路等実情に合わせて変更する場合があります。

8　装置内部

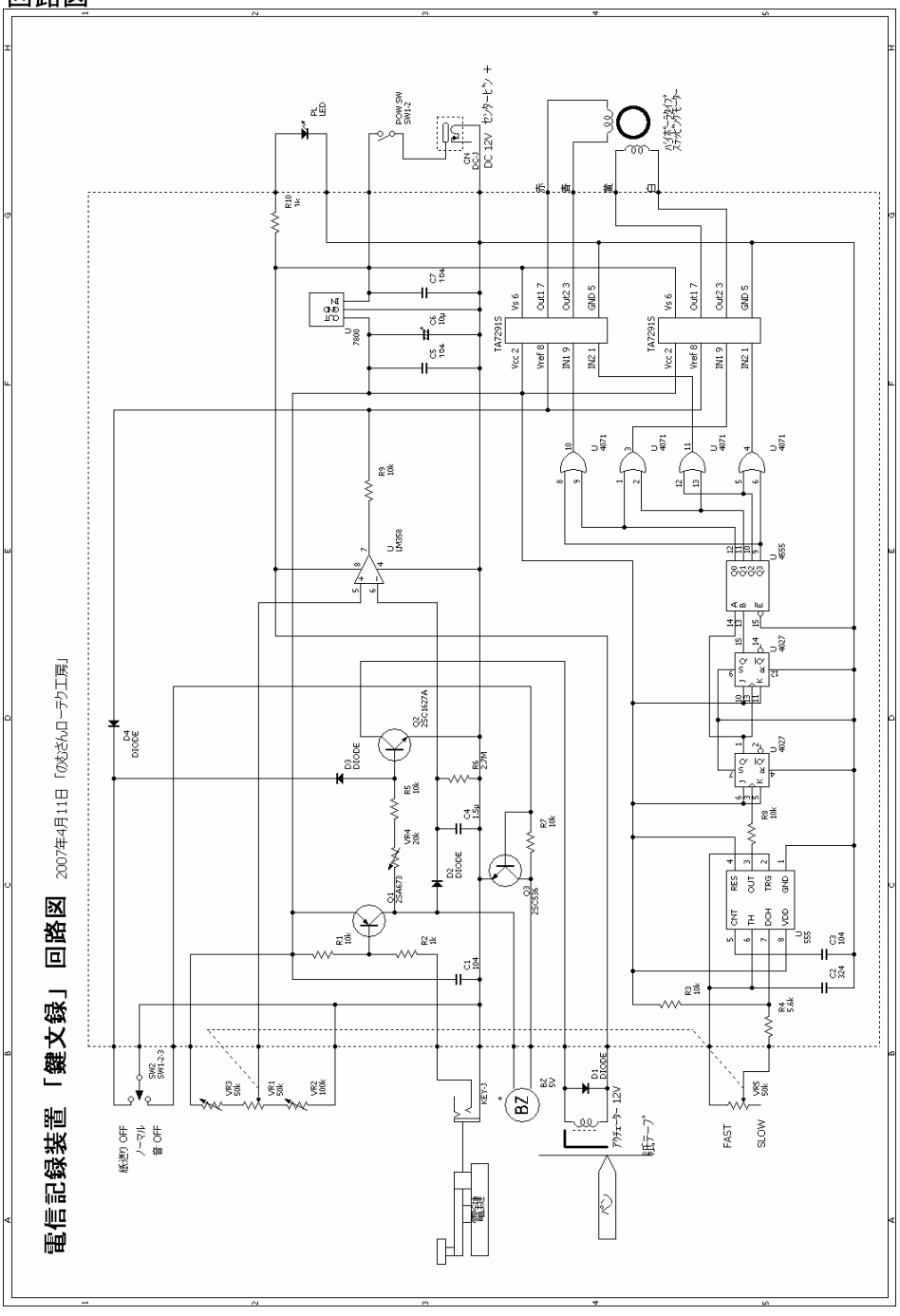


高速側紙送り量
調整VR

低速側紙送り量
調整VR
※　こちらを先に合わせて
から高速側を合わせます。

アクチェーター電流調整VR（キー操作で紙送りがストップする場合は調整してください）

9　回路図



「のむさんローテク工房」
918-8175
福井県福井市江尻ヶ丘町263
野村　実（JA9BSL）
TEL　0776-38-5581
e-mail　bslmino@p2422,nsk,ne.jp
お店/Shop　http://nomusankoubou.cart.fc2.com/